

令和6年度那覇市上下水道局防災訓練

上下水道局では災害時の初動体制の確立と危機管理意識の向上を図るため、令和6年11月16日（土）、強い地震発生を想定した防災訓練を上下水道局庁舎と災害用備蓄倉庫、新都心公園の3か所で実施しました。

庁舎での訓練では「職員の参集訓練」「対策本部設置訓練」にはじまり、被害状況、断水状況等へ対応するため那覇市上下水道局危機管理計画に基づき、「配水運用計画の作成」や「管路応急復旧計画の作成」等の訓練を行いました。

また、災害用備蓄倉庫、新都心公園では災害時に応援協定を結んでいる団体（お客様センター、那覇市管工事協同組合、日本下水道管路管理業協会九州支部沖縄県部会）のみなさまにご参加いただき、応急給水車や公園の地下にある緊急貯水槽を使用し給水袋へ水を入れる「応急給水訓練」、マンホールの上にトイレを組み立てる「マンホールトイレ設置訓練」を実施しました。



今後も定期的に独自の訓練を実施し、防災体制の強化に努めてまいります。

【お問い合わせ】総務課 TEL：941-7801 FAX：941-7821

水道工事に伴う断水のご協力願い

上下水道局では、古い配水管から耐食性・耐久性・耐震性に優れている配水管へ取り替える工事を進めております。工事に伴い、一時的な断水が必要となる場合がございますが、工事の円滑な進行と安定的な水の供給を実現するため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。長時間の断水が生じる場合は、仮設管を設置して、利用者へ水の供給を行います。

古い配水管を撤去して、新しい配水管を連結した写真です。既設管撤去工事及び新設管との連結工事の際に断水が生じます。断水が生じる際は、文書等にて事前に通知します。



工事終了後、通水させる際には消火栓にて水を放出させ管内を洗浄します（洗管作業）。



【お問い合わせ】水道工務課 TEL：941-7807 FAX：941-7827

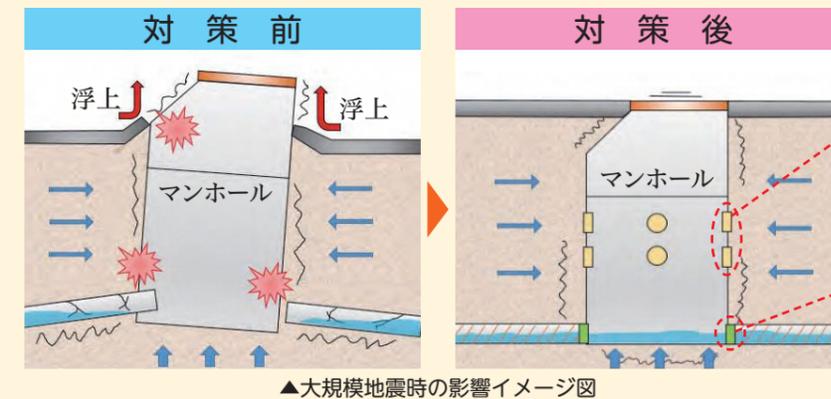
那覇市下水道の耐震化への取り組み

那覇市の公共下水道は、昭和40年に初めて工事に着手していますが、初期に整備された下水道管路は、全体の約15.9%が50年以上経過（令和5年3月時点）しています。

老朽化が進行するとともに初期に整備された下水道管は、耐震性が不十分な箇所があります。そこで、大地震の際にも安心して下水道を使うように、緊急性が高い重要な下水道管（幹線）から老朽管の更新やマンホールの耐震化等を進めています。

大規模な地震が発生した場合、下水道施設が破損すると道路上に汚水が溢れたり、トイレが使用できなくなるほか、液状化による下水道管の損壊、マンホールの浮き上がりなどといった被害が報告されています。

そこで、マンホール浮上防止対策やマンホールと下水道管の接続部を柔軟にする管口可とう化対策及び管を補強する管更生工法などを行っています。



▲大規模地震時の影響イメージ図



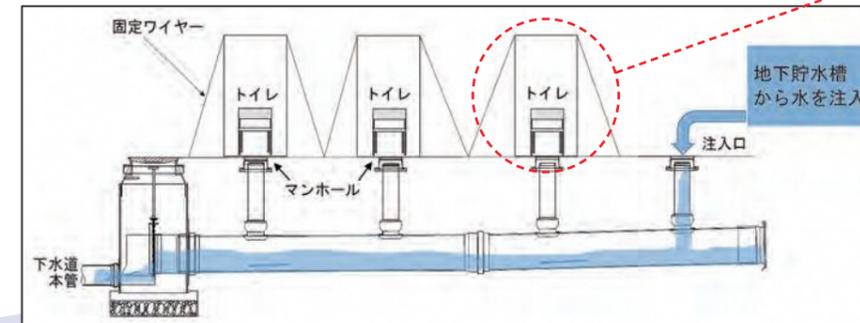
▲マンホール浮上防止対策



▲管口可とう化対策

マンホールトイレの紹介

災害時に広域避難所として指定されている新都心公園内には、園路沿いにマンホールトイレ30基を整備しています。マンホールトイレは災害時に仮設トイレが設置されるまでの緊急用のトイレであり、使用する際は小型マンホールの蓋を開けてその上に簡易トイレとテント等を設置して使います。



▲マンホールトイレのしくみ



▲マンホールトイレ写真（新都心公園）

【お問い合わせ】下水道課 TEL：941-7808 FAX：941-7828